

潮のかたち - 記憶と鼓動のアートフェスティバル -
うしお

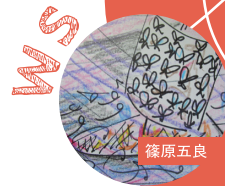
たどつ
アートフェスティバル
TADOTSU ART FESTIVAL 2025

題字 速水史朗
(多度津町名誉町民)

アートが町で呼吸する



サイトウ尚登



篠原五良

2025.11.22sat-11.30sun

会場：多度津港周辺、本町筋周辺

10:00-16:00

最終日30(日)は10:00-15:00

イベント

※ 詳細は、公式ホームページ、公式 Instagram をご覧ください。

- ◎ オープニングイベント：11.22 (土) 10:00～ 会場/本町筋
- ◎ まち歩き：11.23 (日) 10:30 合田邸集合 定員 先着15名
アート会場を巡りながら多度津の歴史と地形を見よう！
- ◎ ワークショップ：篠原五良『アサギマダラ』
11.23 (日) 10:00～12:00 会場/中央公民館分館
- ◎ 音楽イベント：サイトウ尚登『粒は動き 流れる Particle Motion Flow』
11.29 (土) 14:00～ 会場/旧合田邸
- ◎ 多度津本町デー：11.30 (日) 10:00～15:00
- ◎ スタンブラリー、キッチンカー、ワークショップもあります。

kitchen car 11.22(土).29(土)

WorkShop 11.22(土).23(日).24(月祝). 29(土).30(日)



公式 HP



公式 Instagram

連絡先

〒764-0005
香川県仲多度郡多度津町大通り 4-26
(サクラートたどつ内)
TEL：0877-33-3330

主 催：公益財団法人 多度津町文化体育振興事業団
後 援：多度津町・多度津町教育委員会
協 力：一般社団法人アトリエ・サラダ、香川大学たどつまちLabo、
高松工芸高校写真部、多度津高校 写真部・建築科
企画協力：アートエコプロジェクト

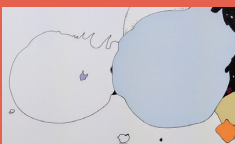
テーマ「潮（うしお）のかたち — 記憶と鼓動のアートフェスティバル」

ごあいさつ／開催趣旨

多度津町は、江戸時代から瀬戸内海の家運や金比羅参詣の拠点として栄え、明治・大正期には四国の近代化を支えた町です。多度津港と本町筋は、その中心として人・物・情報が行き交いました。

「潮のかたち」には、時代の流れとともに変化しながらも、土地に刻まれた記憶の存在を感じ取るという意味が込められています。かつて文化が交差したこの地に、歴史の記憶がよみがえり、現代アートが新たな息吹を吹き込みます。

作家紹介



A 杉本 羽衣

1986年 香川県生まれ。2011年 多摩美術大学大学院 修了。高松市美術館 市民ギャラリー、高松市塩江美術館などで個展グループ展など多数。[挿絵]絵本「ふしぎなねこのひげ」(文芸社)



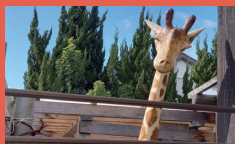
B 鈴木 マヤ子

1985年多度津町出身。神戸大学大学院修了、関西を中心に国内外で制作活動を行う。絵画や立体など表現方法は多岐に渡り、丸亀団扇やマトリョーシカなど民芸作品も手掛けている。



C E H J 内平 俊浩

1960年石川県生まれ。名古屋芸術大学彫刻科卒業後、埼玉県入間市のKOBATAKE工房で学ぶ。個展、グループ展で若い女性の等身木を長年発表。故郷の能登には、自分の作品を中心とした内平美術館を開設している。



D 岡山 富男

自然素材を使用し特殊な建築内装を手がける、キリンやブタなどを擬人化した動物のアート作品を制作。2006年、ギャラリー兼工房の「WHAT'S NEW?」<善通寺市>をオープン。



F さとう ゆうじ

1958年生まれ。本展の「monkei・もんけい」は2012年から制作。文字でも記号でもない形を感覚で読み取る作品です。



F 中野 良寿

1967年香川県生まれ。東京藝術大学修了後、英国在外研修。山口大学教育学部教授、山口現代芸術研究所での活動、N3 ART Labを運営。国内外で環境をテーマに作品を発表。現在、信州大学教授。



F Oowets

自然物と楽器などを組み合わせて、音楽やアート・映像制作。「AMBUSH」の音楽を担当、Kamoiマスキングテープ新作映像「SUNNYSIDE FIELDS」店内音楽、物流用自動走行ロボットサウンドデザイン。札幌国際芸術祭2014でグランプリ受賞。



G 南 優

1952年香川県生まれ、在住。40年あまり前からインスタレーションを中心とした表現を国内外で発表してきた。素材が表現者を置き去りにして語り始めるような現場に立ち会うべく「設置」し続けている。



I 藤原 慎治

1963年小豆島生まれ。大阪芸術大学卒業後、関西、東京を中心に作品発表を続け瀬戸内国際芸術祭にTEAM男気として参加。最近では、農耕、養鶏、狩猟と幅広く活動している。



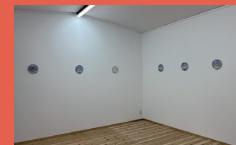
K 倉田 研治

1973年生まれ。大阪芸術大学大学院修了。大阪、山形、千葉、山口などで時間や複製などのテーマを写真、映像、インスタレーションにより制作を行う。山口県立大学准教授。



L 山端 篤史

1972年生まれ。大阪芸術大学卒、立体造形作品を中心に制作。インスタレーション、野外彫刻、版画などジャンルにこだわらない制作をモットーに活動。瀬戸内国際芸術祭2010、'13出展。個展、グループ展など多数。



M 嶋田 日出夫

1954年生まれ。東京藝術大学卒業後、デュッセルドルフ美術大学終了。帰国後、ギャラリーシマダ開設、山口現代芸術研究所設立及び活動。2014年作家活動を再開。



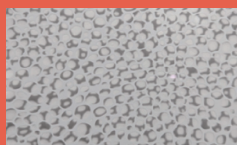
M 蔵本 秀彦

筑波大学大学院芸術研究科修了。絵画を軸に制作を展開しながらも、立体、インスタレーションなどメディアを横断した表現に取り組む。展覧会など多数開催の他、音楽やダンスとの協働も多い。



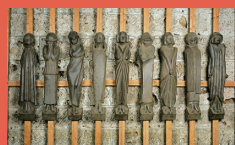
M 田中 米吉

1925-2021年 山口県生まれ。ギャラリー・カイ、コンジット画廊(ダラス、ニューヨーク)、山口県立美術館などで展示。埼玉県立近代美術館、美ヶ原高原美術館、ダラス大学、秋吉台国際芸術村、等に作品設置。



M ハセガワタカシ

1975年香川県生。彫刻家、故田中米吉氏に師事。渡西。国内外で活動。近年、難しいコンセプトは持たず持たせず、身近で簡単、単純なモノづくり(アート)をライフワークとする。



N 猪瀬 昌延

1973年東京生まれ。東京藝術大学大学院博士課程修了(博士学位取得)。主に人体をモチーフに乾漆による制作。個展、グループ展等で作品を発表。現在、信州大学准教授、国画家会員。



N 大川原 誠人

1962年高松市生まれ、1987年東京都立芸術大学修了、高松市文化奨励賞受賞、瀬戸内国際芸術祭「Art Summit on the 御山」に出品。高松市歴史資料館、かまどホール(坂出市)。1つだけ美術館など多数発表。1986〜思可年展。香川県伝統工芸士



N 澤登 恭子

東京生まれ。東京藝術大学油画専攻卒業。同大学大学院壁画研究室修了。主に女性性をテーマに映像、インスタレーション、ライブパフォーマンス作品を国内外で発表。2019年山口県文化振興奨励賞受賞。



N サイトウ尚登

インド打楽器タブラ奏者。音楽とヨガをベースとしたユニットlilynaotoでの演奏活動やワークショップなど日本各地で展開。綾川町にて音楽・ヨガ教室&タブラ工房Fraskon Studio主宰。



N 篠原 五良

1958年生まれ、文教大学初等教育美術学科卒業後、香川県で小学校に勤務。図画工作科で教材開発研究。主に、版画、立体作品を個展やグループ展で発表。2013年以降はLEDを用いた作品やインスタレーションを制作。讃岐ゾオガイド、防災士として活動。有明浜海浜植物の保護・讃岐の妖怪研究。



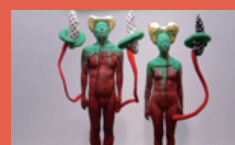
N 鶴留一彦+森秀信

鶴留一彦と森秀信のユニットで2011年の宇部アンデパンダン展を機に結成。主に山口、宇部、前橋、北九州で「KANMON」シリーズ作品を発表する。



N 速水 史朗

今年、98歳を迎える日本を代表する現代彫刻家、瓦や御影石で制作したモニュメンタルな作品が有名だが、伝統的な美濃和紙とコラボした灯りの作品も美しく人気がある。



N 平野 年紀

1958年香川県高松市生まれ。1986年より県内のグループ展等で毎年作品発表。1997頃からは個人的体験をもとにした身体と精神、生と死などをテーマとしたインスタレーション作品を制作している。



N 丸亀戸沙怒子

香川県在住。造形作家。子供の頃より独学で制作を開始。今年25年目。主に石壁粘土を使用した球体関節人形を制作。13年程前から県内外の展示・企画展に参加。あまり活動的ではない。